

実習についてのノート

1 load コマンド

殆どのシステムは対話的実行モード (interactive mode) で利用できる。またシステムによっては, Maple や Mathematica のように対話的実行をノートブック風インタフェースで実行できる。このようなインタフェースは便利であるが, システムにより使い方が大きく異なる場合も多い。この実習ではさまざまなシステムを用いるため最も汎用な (基礎となっている) 実行方法, つまり (1) 入力をテキストエディタ (emacs など) で入力し, (2) その入力をリダイレクトまたは load コマンドなどで実行する。という方法で実行することにする。解答例もそのような形式で提示する。

test.txt を入力ファイルとするとき, たとえば Macaulay2 でリダイレクトで実行するには unix シェルより

```
M2 <test.txt
```

と実行する。load コマンドはシステムを対話モードで起動してから実行する。load コマンド名はシステムにより異なる (polymake や 4ti2 などのように load コマンド相当をもっていないものもある)。

CoCoA では `source "test.txt" ;`

kan/sml では `(test.txt) run ;`

M2, Risa/Asir, では `load("test.txt");` または `load("./test.txt");`

Singular では `< "test.txt";`

Maple では `read 'test.txt';`

(CoCoA や) Mathematica では `<< test.txt`

R では `source("test.txt");`

なお emacs で指定された行へジャンプするには

`Edit` → `Go To` → `goto line` とすればよい。